

平成31年度 学校の教育目標と経営方針

1 本校経営の基本方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法をはじめ，教育諸法規，学習指導要領，県・市の教育施策，及び教育課題・基調を踏まえ人権尊重の精神を基盤に据えた学校経営にあたる。
- (2) 第3期久留米市教育改革プランに基づいた弓削小学校プランを作成し教育活動を推進する。
- (3) 校区や学校の伝統と児童の実態，保護者や地域社会の願い等に立脚し，本校教育を推進する。
- (4) 教育の効果は，子どもの姿の変容にあることを基本に，下記の5つの基本的な姿勢を持って職務遂行に努める。
 - ① 一人一人の子どもをかけがえのない存在として認識し，生命を大切にし，いじめや差別，偏見のない人権尊重の精神が貫かれた学校・学級づくりに努める。
 - ② 豊かな心・確かな学力・健やかな体の育成を目指し，授業で子どもを伸ばす。
 - ③ 教師の実践的指導力の向上を図るための自己研鑽に努める。
 - ④ 子どもも教師も共に一人一人の個性や持ち味が発揮できる明るい温かい学校を目指す。
 - ⑤ 前年度の反省を生かして，「前年度から，一歩改善」の姿勢で臨む。

2 本校の教育目標

**豊かな心と自ら学ぶ強い意志をもち，たくましく生きる子どもの育成
～「生きる力」に充ちた「ゆげっこ」の育成～**

3 本校教育の具体的目標

(1) めざす児童像

ゆ 豊かな心を磨く子

- 感謝や思いやりの心をもち，みんなと仲良く協力する子
- 地域の自然を愛し，命を大切にする子
- 進んであいさつをし，相手の立場を考えた言葉遣いができる子

げ 元気な心と体をつくる子

- 友だちと元気に外遊びをする子
- 目標を持って運動に励み，進んで身体を鍛える子
- 自ら健康・安全に気をつけて，望ましい食生活や規則正しい生活ができる子

つ 強い意志で粘り強くやりぬく子

- 目標をもって実行し，根気強くやり抜く子
- 善し悪しを判断し，正しく行動する子
- 働くことの喜びや苦勞がわかり，労働することをいとわない子

こ 個性を伸ばし，ともに学びあう子

- 学習の基礎・基本を身につけ，自分の感じたことや考えを表現できる子
- 学習のめあてをもち，進んで考えたり調べたりして解決しようとする子
- 自他の考えを出し合う学び方や学習習慣を身につけている子

(2) めざす学校像

ゆげっこの瞳が輝く学校

- 心のふれあいや感動，学ぶ喜びをつくりだす学校
- 礼儀と思いやりのある学校
- 保護者，地域と連携し，信頼される学校

(3) めざす教師像

**子どもにとっての最大の
教育環境は，教師自身である。**

- 児童・保護者・地域から信頼と尊敬を受ける教師
- 子どもと共に学び，自己実現を支援する教師
- 教育専門職としての自覚と使命感を持ち，力量を高める教師
- 児童の行動背景を知ろうと児童理解に努める教師

(4) めざす授業像

**子どもの姿の変容で見せる！
思考力・判断力を高める授業**

- 一人一人の子どもに確かな学力を育む授業
- 基礎的基本的な内容の徹底を図る授業
- 自他の考えを出し合い、共に学び合う授業
- 地域の教育資源を活用した授業

4 本年度の重点目標

(1) 学校の課題

<p>【教育課題】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学ぶ意欲をもち、自ら考え、基礎・基本となる知識や技能を身につけた子どもの育成○ 自他を大切にする心と感謝の心をもち行動する子どもの育成○ 基本的な生活習慣や「<u>聴く</u>」態度を柱とした学習規律、集団生活上のきまりを身につけた子どもの育成	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 実践的指導力を高める校内研修の充実○ 3部会の機能化を図り、組織力を高める協働的運営体制の向上○ 地域学校協議会を核とした地域連携と学級経営を基盤とした信頼される学校づくりの推進
---	--

(2) 重点目標及び重点となる活動

想像力をはたかせ、自分から進んで行動する子どもの育成
「えがおで挨拶 すすんで学習 しっかり掃除 つづけて読書」

(3) 本年度の学校経営の重点（本年度の重点目標の達成にむけて）

「授業で鍛え、行事で鍛え、成果は子どもの姿で」

1 わかる授業

- (1) 「聴く」態度の育成を柱とした学習規律の確立
- (2) ユニバーサルデザインの視点（焦点化・視覚化・共有化）をもち、どの子どもも「わかる・できる」を実感する授業の推進（各学期に児童による授業アンケートの実施）
- (3) 朝の活動（学びっ子タイム）や放課後学習等の計画的実施による基礎・基本の定着
- (4) 意欲を喚起するめあてや達成感をもつ振り返り活動のある日常の授業の充実
- (5) 親子振り返りカードによる家庭と連携した学習習慣の定着（各学年に応じた学習時間の定着）
- (6) 年間のめあてを明確にした読書活動の推進

2 たのしい学校

- (1) 自他を大切にする心と感謝の心をもち、言葉や行動に表す活動を推進する。
 - ・ 自分の伸びを実感できる、めあてを明確にした体験活動や学校行事の計画
 - ・ 週に1回は、学級で遊ぶ日を設定する。
 - ・ 自主性や思いやりの心を育む異学年たてわり班活動の推進
 - ・ 道徳的価値の深化を図り、他教科や体験・行事等と関連した道徳の時間の実施
 - ・ 月1回のアンケートによる児童の実態把握と教育相談の充実とSCの活用
 - ・ 児童のよさが見える環境整備（学校・学級掲示など）と機を逃さない指導
- (2) 基本的な生活習慣と規範意識を身につけ、進んで体力向上に取り組む活動の推進
 - ・ 体力アップシートを活用した外遊びの継続と奨励（年間を通した縄跳び）
 - ・ 校舎内での過ごし方や登下校の様子を振り返らせ、安全を意識して行動する子どもの育成

3 久留米版コミュニティ・スクールの推進

(1) 地域学校協議会の充実で学校の活性化

- ① ゲームやスマホの使い方の約束決めとその徹底（全学年親子で学ぶ）で学習習慣の定着

- ②地域のひと・もの・ことを生かした学習等で、地域と連携した開かれた学校づくりによって学校が楽しいという子を増やし、不登校傾向の子どもへの早期対応と不登校0の継続。
- (2) 地域のひと・もの・ことを生かした学習の計画や学校行事への地域の方の参加のよびかけを通した開かれた学校づくり
- (3) 学校便り・学級便り等の諸通信，ホームページ等を通した積極的広報活動
- 4 1校1取組運動・道徳教育・食育
- (1) 毎週月曜日の学級・縦割り班による外遊び「元気っこタイム」の推進（1校1取組運動）
- (2) 家庭と連携した，早寝・早起き・朝ご飯運動の推進と規範意識の育成
- 5 「自分から」を合言葉に，あいさつ・そうじ・自学自習・読書に進んで取り組む。